

わたの丘

学校だより 第528号 (令和5年1月30日発行)



学校QRコード



2年箏曲の授業

自分にあった勉強方法を見つけよう

1月の終わりには雪の降る日が続きましたが、今年の舞鶴の冬は昨年と比較しても寒さが和らいだ日が多くあるように思います。まだまだ雪の降る日もあると思われませんが、コロナの感染拡大とあわせて気の抜けない日々が続く中、暦の上では節分・立春を迎える頃となりました。保護者・地域の皆様方におかれましては、ますますご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

これまで学校の様々な行事等が無事行えておりますのも、ご家庭や地域の皆様のご協力のもと生徒たちも感染予防対策に対する意識を高く持ち、授業に臨み、学校生活を送ってくれているおかげだと思っております。皆様に感謝申し上げます。特に3年生は大切な高校受験を控えており、日々の生活を一層緊張感あるものとし、進路実現に向け努力して欲しいと思っております。

先日、1月18日には中舞鶴小学校へ行かせていただき、次年度の新入生保護者を対象に説明会を実施させていただきました。昨年はコロナ禍のため資料のみの配布とさせていただいており、久しぶりに保護者の方々のお顔を拝見しながらの説明会となり少し緊張いたしました。全体に係ることとして、性の多様性の問題が取り上げられております昨今において

① 男女の制服の枠は取り除いてどちらを選択いただいてもよい

全てのご要望に対しては対処できない場合もありますが、業者にも連絡しておりますので、ご相談いただけますようお願いいたします。

また、これから進む土日の部活動の地域移行に関わっても、和田中学校の部活動も選択肢としては決して数が多いわけではありませんが、地域のスポーツクラブなどに参加している生徒も含め、特に部活動での経験は、これからの生徒の人生においても貴重な体験であり、勉強以外に学ぶこともたくさんあったり、放課後の生活の安定であったり、得られる効果は多くあると思っております。

② どこかの部に所属していただきたい

次年度の新入生保護者に対しては、お子様にはぜひ部活動には入っていただきたいことをお願いさせていただきました。

以上の2点については、現在の和田中に在学する生徒においても同様ですので、ご確認いただければありがたいです。

さて、朝のテレビのニュース番組でも取り上げられておりましたが、最近の10代の受験生の受験勉強においてはスマホが欠かせない状況にあるという話題が出ておりました。決してスマホをいじって遊んでいるわけではなく純粋にスマホの機能を使って学習をするわけです。英語であれば音声を伴って発音を聞きながら単語の綴りを覚えることに利用したり、画面に赤色のフィルターをかけて答えの部分を見えなくして暗記物の学習をしたり、ひいては、インターネットを活用して他の受験生のまとめたノートを閲覧したり、わからない問題を質問としてネット上に送信し解答の情報を他から得たり、これまで我々昭和の時代での受験勉強ではあり得なかった勉強方法が行われています。保護者としては、本当に勉強しているのか？ それともスマホで遊んでいるのか？ 大変判断しにくいという不安の声も出ています。しかし、これらのスマホのツールをうまく活用することはこれからの時代に有効であり、大きな効果をもたらすものと考えます。ただし、情報モラルの問題もあります。正しく使うことが前提です。受験生の中には布団の中でもスマホを使って勉強したり、お風呂に持ち込んで受験勉強をしたりする学生もいるようです。健康面でも大変気にはなります。ずっとスマホをいじっている状態が続くと「スマホ脳過労」とよばれる状態になるそうです。チェック項目は6つ ①情報に乗り遅れるのが怖い ②最近漢字が書けなくなった ③覚えておくために何でも撮影 ④会話や約束を忘れてあわてる ⑤布団の中でもスマホ操作 ⑥着信音が空耳で聞こえる だそうです。ぜひチェックしてみてください。自分にとって一番よい勉強方法を見つけることができたなら、それを信じて取り組んでみることも大切かもしれません。

各ご家庭におかれましてはこの2月も十分に感染予防をされ、過ごされますことをお願い申し上げます。生徒や教職員、そして関係の皆様のご健康と安心・安全を確保するために学校でも感染拡大のリスクをできる限り下げる工夫をし、取り組んでまいりたいと思っております。ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

校長 荒賀 洋